

三菱ふそう故障診断アプリケーション
Version 1.0.1

取扱説明書

ご利用の前に

- ・この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
- ・この取扱説明書は、製品と一緒に大切に保管してください。



警告

- (1) 故障診断機本体から煙が出る、異臭がするなどの異常がある場合は、ただちに車両のイグニッションスイッチと診断機本体の電源をOFFにして、ダイアグケーブルを抜いてください。
火災の原因となります。



注意

- (1) 本アプリケーションは故障診断機専用です。販売元が認定する診断機以外他メーカーの診断機には使用できません。
診断機本体、アプリケーションソフトの故障の原因となります。
- (2) 本アプリケーションは三菱ふそうトラック・バス専用です。他メーカーの車両には使用できません。
他メーカーの車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。
- (3) 車を修理する場合は、カーメーカー発行の整備マニュアルに基づき修理を行なってください。
- (4) 販売元で認定している故障診断機用アプリケーションソフト以外のソフトやデータ類を、付属のCFカードにインストールしないでください。
診断機本体の誤作動や故障の原因となります。
- (5) 診断機本体にCFカードを取り付ける時や取り外す時は、実行中のアプリケーションソフトを停止させ、電源をOFFにしてください。
アプリケーションソフト実行中や電源ONの状態でのCFカードの取り付けや取り外しをすると、故障診断機本体やCFカード内のプログラムやデータを破壊する恐れがあります。
- (6) CFカードを抜いた状態で故障診断機を長時間、放置しないでください。
CFスロット(挿入口)を開放したままにすると、本体内部にホコリや水滴が入り、故障となる原因を誘引します。
- (7) CFカードを水に濡らしたり、曲げたり、落としたり、衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。
- (8) CFカードを挿入する時は、診断機に向きを合わせ挿入してください。
向きを間違えると故障の原因となります。
- (9) CFカードを分解、改造しないでください。
故障の原因となります。
- (10) CFカードのコネクタ部分または内部に異物を入れないでください。
故障の原因となります。
- (11) CFカードを直射日光のあたる場所、温度の高い場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所に放置しないでください。
故障の原因となります。
- (12) CFカードのコネクタ端子に指で直接触れないでください。
故障または接触不良の原因となります。
- (13) ケーブルの抜き差しは、コネクタハウジングをつかんで行ってください。
ケーブルを直接引っ張ると断線の原因となります。

目 次

1.	サポート範囲	1
1.1.	対象車種	1
1.2.	診断項目	1
1.3.	使用言語	1
2.	準備	2
2.1.	接続	2
2.2.	各種設定	2
3.	操作	3
3.1.	車両故障診断/点検メニュー	3
3.2.	車両故障診断メニュー	4
3.3.	システム選択メニュー	5
3.4.	システム診断メニュー	5
3.5.	ダイアグコードの点検	6
3.5.1.	ダイアグコードの点検メニュー	6
3.5.2.	ダイアグコードの点検	7
3.5.3.	ダイアグコードのクリア	7
3.6.	画面保存データの表示	8

1. サポート範囲

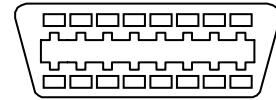
1.1. 対象車種

(1)診断可能条件

本アプリケーションは、下記に示すすべての条件を満たす三菱ふそうトラック・バスのコントロールユニットで故障診断を行なうことができます。

- ・ 国際標準規格の診断コネクタ(SAE J1962のコネクタ)を装備した**キャンター (一部診断不可の場合有り)**。
- ・ 本アプリケーションが診断対象としているシステムで、かつK-LINE (7番端子)で故障診断通信を行うコントロールユニット。

ダイアグノシスコントロールライン(診断コネクタNo.1ピン)を使用するコントロールユニットについてはサポートしていません。



[国際標準規格診断コネクタ]

1.2. 診断項目

本アプリケーションは、「1.1.対象車種」に記載の条件を満たす車両に対して、下記のシステム、診断機能をサポートしています。

<システム別サポート診断機能>

診断対象システム	エンジン	参照頁
診断機能		
ダイアグコードの点検		3.5
ダイアグコードのクリア		3.5.3


1.3. 使用言語

本アプリケーションは、日本語のみを対象としています。

2. 準備

2.1. 接続

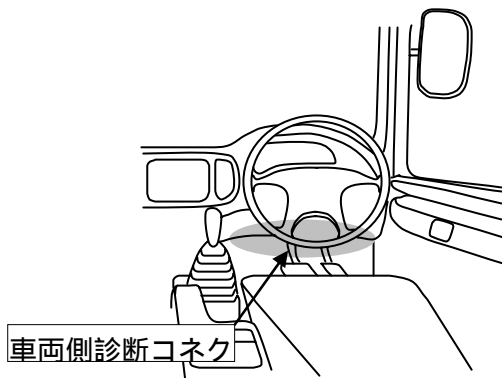
(1) 診断車両が対象車種(「1.1.対象車種」参照)であることを確認してください。

	注意	対象車種以外の車両に使用すると、車両に悪影響をおよぼす恐れがあります。
---	-----------	-------------------------------------

(2) 診断機の電源がOFFであることを確認し、CFカードを挿入してください。

(3) 診断機にダイアグケーブルを接続してください。

(4) 車両のイグニッションスイッチがOFFであることを確認し、下図を参考にして車両側診断コネクタにダイアグケーブルを接続してください。



(5) 車両のイグニッションスイッチをONにします。

2.2. 各種設定

故障診断を実行する前に「ダイアグモニタメニュー」より「ダイアグモニタの設定」を実行して、以下の項目を設定してください。設定方法等に関しては、診断機本体の取扱説明書をご参照ください。

項目	設定内容
日付・時刻の設定	日付時刻が違っていたら正しく設定しなおしてください。
キープッシュ音	キーを押した時のプッシュ音を設定してください。
単位の設定	国際単位系であるSI単位に設定してください。 [SI単位] 速度 km/h 温度 圧力 kPa 空気流量 g/s

3. 操作

3.1. 車両故障診断/点検メニュー

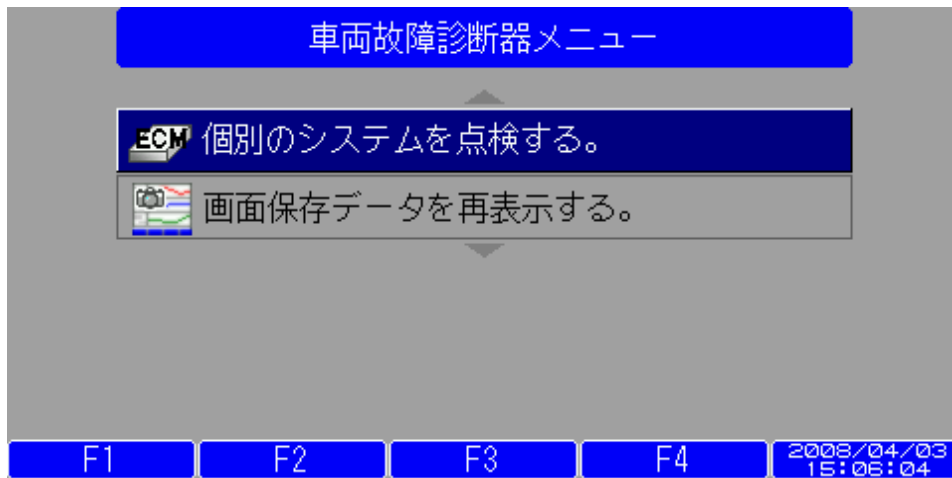
「ダイアグモニタメニュー」で「車両故障診断/点検をする」をYESで選択すると、車両故障診断メニューを表示します。



このメニューで「三菱ふそうの故障診断」をYESで選択してください。

「三菱ふそうの故障診断」を選択すると「アプリケーションロード中... しばらくお待ちください」と表示されます。CFカード内のアプリケーションを実行する準備を行なっていますので、電源を切らずに数秒間お待ちください。

3.2. 車両故障診断メニュー



メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
個別のシステムを点検する	「3.3.システム選択メニュー」
画面保存データを再表示する	「3.6.画面保存データの表示」

3.3. システム選択メニュー



診断するシステムをYESで選択してください。

システムを選択すると、故障診断を実行するための準備として車両と初期化通信を行ないます。
選択したシステムと初期化通信に成功した場合、「3.4.システム診断メニュー」を表示します。

初期化通信でエラーが発生した場合、エラー画面を表示します。この場合、以下の原因が考えられますので確認してください。

- 故障診断コネクタの接触不良およびケーブル断線の確認。
- ダイアグケーブルとの接続の確認。
- 対象車種の確認。
- 対象車種に、選択されたシステムが搭載されているかの確認

3.4. システム診断メニュー

「3.3.システム選択メニュー」で選択したシステムで診断が可能な機能を表示します。



メニュー項目をYESで選択すると、以下参照項の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	参照項
ダイアグコードの点検	「3.5.1.ダイアグコードの点検メニュー」または「3.5.2.ダイアグコードの点検」

3.5. ダイアグコードの点検

3.5.1. ダイアグコードの点検メニュー

ダイアグコードの発生状況別に点検項目を表示します。



メニュー項目をYESで選択すると、以下の機能をそれぞれ実行します。

メニュー項目	機能
現在のダイアグコードの点検	表示対象コードを現在故障に絞り込んで「3.5.2.ダイアグコードの点検」を実行
過去のダイアグコードの点検	表示対象コードを過去故障に絞り込んで「3.5.2.ダイアグコードの点検」を実行

3.5.2. ダイアグコードの点検

車両が記憶しているダイアグコード(故障コード)を取得し表示します。「検出コード」の欄に表示されているダイアグコードにカーソルを移動させると、そのダイアグコードの検出条件が画面左の「検出条件」の欄に表示されます。ダイアグコードが発生していない場合、「DTC無し」を表示します。



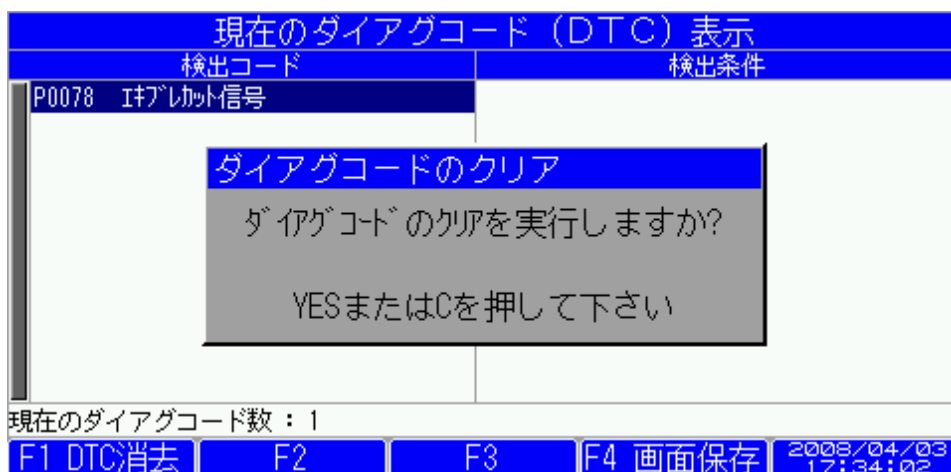
<操作方法>

/	画面左のカーソルを移動します。
F1	「3.5.3.ダイアグコードのクリア」
F4	画面のハードコピーを保存します。
YES/C	前の画面に戻ります。

取得されたダイアグコードによっては補足説明や検出条件がアプリケーションソフトに登録されていない場合があります。その場合は補足説明の部分に「整備マニュアルを参照ください」と表示されますので、カーメ - カ - が発行した対象車両の整備マニュアルを参照してください。

3.5.3. ダイアグコードのクリア

車両に記憶されているダイアグコードをクリアします。



<操作方法>

YES	ダイアグコードのクリアを実行します。
C	処理を中止し「3.5.2.ダイアグコードの点検」に戻ります。

ダイアグコードのクリアでエラーとなった場合は、エンジンをOFFしてもう一度実行してください。

お問い合わせについて

この製品について不明な点がある場合や故障と思われる場合には、故障診断機キットに同梱されています
故障診断機本体取扱説明書のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

三菱ふそう故障診断アプリケーション Version 1.0.1

取扱説明書

2008年 4月 初版発行

本書の内容の一部、または全部を販売元の許可なく複写、複製、転載することを禁じます。